

(11) 2002年(平成14年)10月25日(金)

不登校の子ども
たちがイキイキ
つくば・ライス学園

不登校の子どもたちのため
の昼間クラスを開設して
いる。つくば市谷田部の
「ライス学園」を約1年半
ぶりに訪ねた。NPO法人
・日本スポーツ振興協会か
ら招かれたコーチととも
に、ソフト・テニスを楽しむ
子どもたちは、生き生き
とした表情でボールを運っ
ていた。

学園を運営しているN
PO法人「リウアルウ学校
教育研究所(ライズ)」
は、現在の学校に過剰で
ない子どもたちが、そ
れぞれの個性や成長のベ
ースに合わせて学び、個々の
可能性や能力を伸ばすこと
ができる。「小さな地域立
学校」の設立を目指して活
動を続けている。

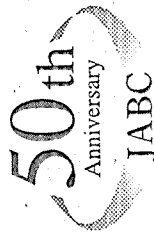
その先駆けとして、設立
当初から開設している「ラ
イズ学園」に通うのは、小
学4年生から高校1年生ま
での計8人。週1回の高校
で学びながら通園している
子どもたちもいる。

スタッフは、公立学校の
元教師や筑波大学の健生な
ど。苦手な教科や、つま
み方をそれぞれ異なる子ど
ろに対し、覚えやすい方
法を思いついたり、自作のプ
リントを使用するなど工夫
しながら授業を行っている。
なかには英検や漢検を
取得した生徒もあり、個々
のペースに合わせた少人数
制ならではの、きめ細かい
指導が成果を挙げはじめて
いる。

こうした学習力の向上に
加え、生徒が自分自身を普
通にとらえられるように
導くことも、学園の目的の
一つ。家族的な雰囲気作り
に力を注ぎ、スタッフや生
徒同士の交流を通じて、彼
らが少しずつ自信を身につ
けられるようサポートして
いる。

学園では、スポーツ教室

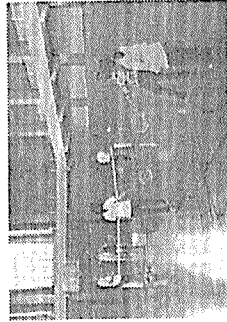
10月28日は「ABCの日」。
日本ABC協会の誕生日です。



半世紀 読者と
メディアとスポンサー
つなぎ続けたABC

創立50周年記念キャッチフレーズ
●読者秀作/砂金 慎さん(河北新報社)

社団法人 日本ABC協会



のほか、絵画・造形、調理
教室、野菜作りや大鼓教室
といった体験的な学習を積
極的に取り入れている。
小野村代表は、「スポ
ーツは嫌だと言っていた子

がキャッチボールまで
よつにならなり、仲間を
しがったり、少しづつだが
子どもたちの成長を感じ
ている」と話す。

今月から、月・水・木・
金曜の週4日に開校日時を
増設。小学3年生から中学
3年生が主な対象で、スポ
ーツクラス、大鼓教室のみ
の参加も受け付けている。
問い合わせは、FAX 029
8・56・8143、Eメ
ール rise@mail1.accsnet.ne.jp
(ライズ事務所)つくば市
二の宮